

上分1号橋

狭隘な地形のもとで架設された長支間のUコンボ橋



施主	徳島県
施工場所	徳島県神山町
完成年	2015年
橋長	53m(全体橋長72m)
形式	PC単純Uコンボ桁橋
全幅	9.2m
桁高	2.6m
製作方法	プレキャストセグメント間仕切り方式(11seg)
主桁幅	3.0m
主桁本数	2本
主桁重量	約320ton
架設工法	スパンバイスパン工法
参考文献	プレストレストコンクリート 2016年 No.3

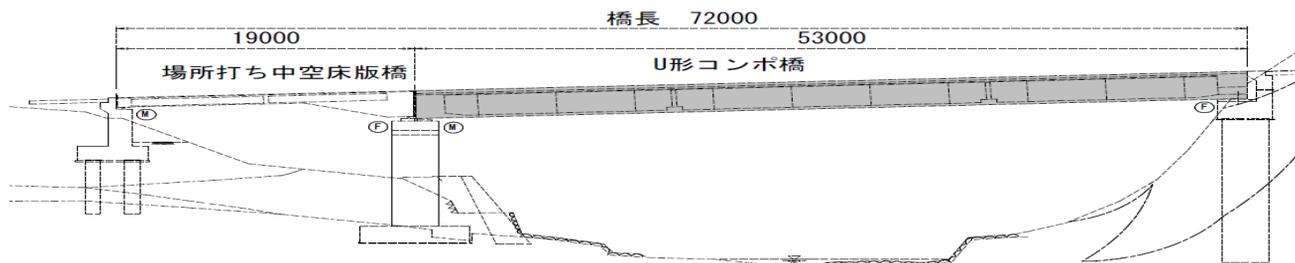
ポストテンションT桁橋は、長さが50mを超えると座屈の恐れが高まり適用が難しくなる。本橋は支間が約52m程度であるため、座屈に対して有効なU型断面が採用された。

1本の桁重量が約320tであるため、2連式の架設桁による抱き込み架設方法が採られた。現地 conditions から架設地点後方で長さ53mのプレキャスト桁の組み立てができなかったため、個別のセグメントを架設桁より吊り下げながら組み立てるスパン・バイ・スパン工法が採用された。

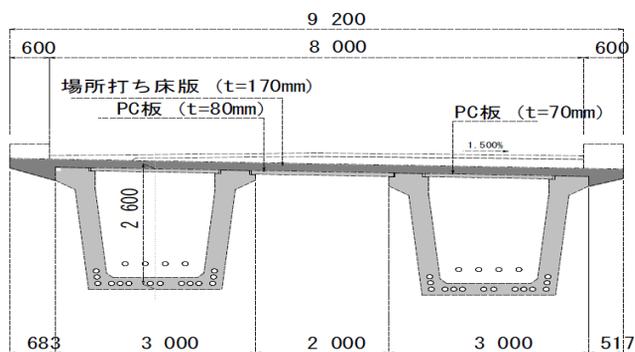
セグメントの数は主桁1本あたり11セグメントであり、桁端のセグメントに関しては運搬重量の制限から端横桁部分のコンクリートは現場にて打設された。

PC鋼材は、内外併用で外ケーブルは、桁架設後に緊張された(要確認)。

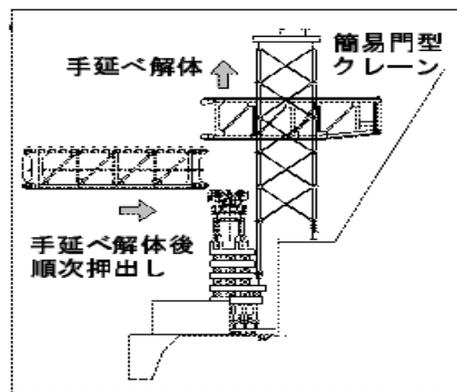
一般図



断面図



架設桁架設



架設桁

32000

手延べ

4@8000=32000

架設桁押し出し →

主桁架設

